

ISSN 2185-8578

JICA 横浜 海外移住資料館

館報

平成 24 年度



はじめに

JICA横浜 海外移住資料館は、お陰様で昨年開館 10 周年を迎えることができました。これまでに 30 万人以上の皆様が来館していますが、その中にはご自身が日系何世という方々も多く含まれています。館内に所蔵している乗船者名簿から遠い昔に海を渡った祖父母等の親族の名前を見つけたときの感動はひとしおのようです。昔話とっていた移住船や親族のイメージが現実としてよみがえってくるのでしょうか。

また、昨年 11 月には、開館 10 周年を記念したシンポジウムを開催しました。アメリカ、カナダ、メキシコ、ペルー、ブラジルの日系博物館・資料館の幹部や有識者のほか、第 54 回海外日系人大会参加者、研究者、マスメディアをはじめとした約 130 名の方々が参加しました。世界各国の日系博物館・資料館の関係者が一同に会した初めての催しであり、各国の日系社会の現状などについて幅広い話を聞くことができました。

いまや移住先の国々において日系人の構成や世代は様々ですが、移住の歴史や意義を後世に継承することが重要課題の一つに挙げられています。次世代にいかに伝えていくべきか、各国の博物館・資料館の努力とあわせ、海外移住資料館との連携にも大きな期待が表明されました。今後こうした期待に応えていけるよう意を新たに努力していく所存です。

海外移住資料館では、移住者の歩んだ道を日本人の歴史の中に正しく刻み、資料、文献、写真などの展示を通して多くの皆様に知っていただくことを目指しています。次の 10 年に向けても、より幅広い方々に日本人の海外移住の歴史と海外日系社会のことを知っていただけるよう努めるとともに、所蔵資料の有効活用や他の資料館・博物館との連携促進などの業務に、積極的に取り組んでいきたいと考えております。引き続き、皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2013 年 6 月

独立行政法人国際協力機構
横浜国際センター 所長
海外移住資料館 館長
北中 真人

目 次

1. 展示イベント等.....	1
2. 情報システム.....	10
3. 資料等情報整備.....	12
4. 教育普及活動.....	13
5. 広報活動.....	19
6. 運営委員会及び学術委員会.....	21
7. アンケート調査.....	23
8. 各種実績等.....	24

1. 展示イベント等

ロバート・アーウィン勲章寄贈記念式典

開催日時：7月26日（木）15:00～17:00

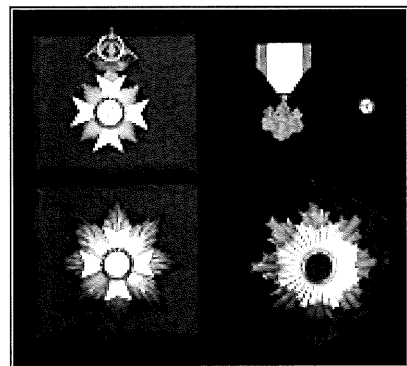
会場：海外移住資料館 企画展示室

概要：「ハワイ官約移民の父」として名高いロバート・アーウィン氏のご愛孫にあたるアーウィン・ユキコ様より、明治天皇がアーウィン氏に下賜された勲章はじめ貴重な品々を当資料館に寄贈いただくことになり、そのご厚意への謝意とともに、アーウィン氏に縁のある皆様にお披露目する機会として、勲章寄贈記念式典を開催。約40名の皆様にご出席いただいた。冒頭、JICA 黒川理事の挨拶に続き、来賓の横浜市政策局小林局長のご挨拶、寄贈品の贈呈に引き続き、JICA から感謝状の贈呈が行われた。

その後、「アーウィン家の偉業から学ぶ」と題し、ワンアソシエイツ・早勢代表取締役、浅間顧問に講演いただいた。次に、外務省外交史料館柳下課長補佐より、外交的歴史的な観点からみたロバート・アーウィン像、ハワイ官約移民の父としてのロバート・アーウィンの紹介が行われた。最後に、浜川市教育委員会の島田主幹より、伊香保とロバート・アーウィンの繋がりについて講演いただいた。

■式次第

1. 主催者並びに来賓挨拶
2. 勲章寄贈及び寄贈文書贈呈
3. JICA 感謝状贈呈
4. 記念講演
早勢弘一
（ワンアソシエイツ 代表取締役）
柳下宙子
（外務省外交史料館 課長補佐）
近藤尚嗣
（浜川市教育委員会生涯学習部文化財保護課次長）
島田志野
（同 主幹）
5. 閉会の辞



(上右) 明治天皇より授与された勲章
(上左) ハワイ王国カラカウア王より授与された勲章



講演会の様子→

官約移民の父 ロバート・ウォーカー・アーウィン

アメリカ独立宣言起草者の一人ベンジャミン・フランクリン 5 代目の子孫であるロバート・ウォーカー・アーウィンは、1844(天保 15)年にデンマークで生まれ、1866(慶應 2)年に太平洋郵船汽船会社(パシフィック・メール)横浜駐在代理人として来日しました。

1881(明治 14)年、在日本ハワイ国総領事に就任すると、移民を強く求めていたハワイ王国の要望を実現するため、日本政府と具体的交渉を行います。そして 1885(明治 18)年、自らシティ・オブ・トウキョウ号に乗船し、第一回官約移民をハワイまで率います。

1886(明治 19)年、日布移民渡航協約が締結されると、1894(明治 27)年まで計 26 回にわたり 29,000 人余りの日本人移民がハワイへ渡りました。この功績を称えられ明治天皇、ハワイ王国カラカウア王から勲章が授与され、「官約移民の父」と呼ばれています。

海外移住資料館開館 10 周年記念シンポジウム

開催日時：11月1日（木） 14:30～17:50

会場：JICA 横浜 4 階 かもめ

概要：2012年10月4日、当資料館は開館10周年を迎えた。国内外の関係機関、関係各位に感謝の意を示すとともに、当資料館がこれまで果たしてきた役割を振り返ること、そしてこれからの10年、当資料館がどうあるべきかという方向性を打ち出す契機とすべく、記念シンポジウムを開催。130名の皆様にご参加いただいた。

当日は、海外の日系博物館を代表し、全米日系人博物館、カナダ日系博物館、ペルー日本人移住史料館、そしてブラジル日本移民史料館の運営組織代表の方々をお迎えし、各館の現状等について直接お話を伺うことができた。

パネルディスカッションは、「海外移住資料館への期待」「海外移住資料館と各国の日系博物館との連携の在り方」という二つのテーマで議論がなされ、当資料館に対する大きな期待が表明されるとともに、当資料館が世界各地の日系博物館等とどのように連携し、どのような役割を果たしていくべきかについて意見が示された。

■プログラム

1. 挨拶 <主催者> JICA 副理事長 堂道秀明
<来賓> 外務省領事局政策課長 田島浩志
<来賓> 横浜市副市長 鈴木 隆
2. 各国における日系博物館・資料館の紹介
(海外移住資料館／全米日系人博物館／カナダ・日系文化センター・博物館／ペルー日本人移住史料館／ブラジル日本移民史料館)
3. 基調講演 — 津田塾大学理事長 飯野正子
4. パネルディスカッション
【テーマ】
 - ・ 海外移住資料館への期待
 - ・ 海外移住資料館と各国の日系博物館との連携のあり方【司会】
中牧弘允（国立民族学博物館名誉教授/吹田市博物館長）
【パネリスト】
グレッグ・W・キムラ（全米日系人博物館館長）
林 光夫（カナダ・日系ヘリテージセンター会長）
福元アベル（ペルー日系人協会会長）
山下リジア玲子（ブラジル日本移民史料館運営副委員長）
【ディスカッサント】
春日カルロス（パン・アメリカン日系人協会名誉会長）
本田正文（ハワイ大学ヒロ校教授）
二宮正人（サンパウロ大学教授）
5. 閉会挨拶 <主催者> 海外日系人協会専務理事 白川光徳



特別展示1 「ハワイに生きる日系人 ―受け継がれる日本の心―」

開催期間：7月27日（金）～9月2日（日）

開催期間中入館者数：4,735名

概要：官約移民当時の砂糖耕地での労働や当時の暮らしぶりが偲ばれる写真や資料で、ハワイの日本人移民の歴史を概観するほか、第一回官約移民の労働約定書・パスポートの実物、最強の軍団として活躍した二世部隊である第442連隊のユニフォーム、徽章など、通常は公開していない貴重な資料も展示。

上映スペースでは、ドキュメンタリー映画「100年の鼓動～ハワイに渡った福島太鼓～」を上映した。



付帯イベント：ドキュメンタリー映画「100年の鼓動～ハワイに渡った福島太鼓～」上映



展示の様子

特別展示2 「JICA 横浜 海外移住資料館の10年」

開催期間：10月4日（木）～11月11日（日）

開催期間中入館者数：4,589名

概要：本年、開館10周年を迎え、開館から今日までの活動をたどり、企画展、特別展等で紹介した展示の内容を振り返った。この10年で26回の企画展及び特別展を行ったが、その中で当資料館に現在も資料が保管されている12の展示について、その一部を展示した。



展示の様子

特別展示 3 アンドウ・ゼンパチー移民知識人の人生とその業績
“Ando Zenpati— A vida e a obra de um imigrante intelectual”

開催期間：12月12日（水）～1月6日（日）
協 力：ブラジル日本移民史料館
開催期間中入館者数：1,535名

概 要：本展示は、2010年11月26日から2011年1月28日までブラジル日本移民史料館で開催されたもので、日本国内では、広島市、神戸市に続き、今回当資料館にて展示開催する運びとなった。

著述業を生業として活躍したアンドウ・ゼンパチについて正しく評価し、ブラジル日系社会において氏の残した業績を本展示で伝えた。

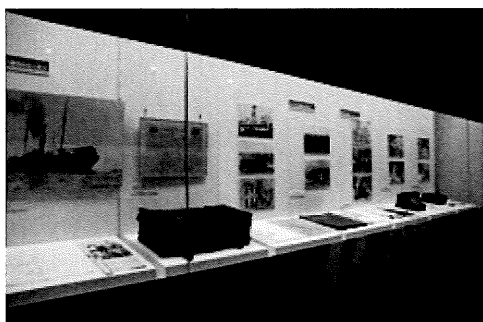


特別展示 4 ペルーの日系人

開催期間：1月18日（金）～2月17日（日）
後 援：在日ペルー共和国大使館
協 力：広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
開催期間中入館者数：3,466名

概 要：1899年、サトウキビ耕地や製糖工場での就労を目的として、最初の日本人がペルーへと渡った。その後、約3万6千人が渡り、現在では日系人口約9万人といわれている。南米で最初に日本人移民が渡った国、ペルーにおける日系人の歴史や生活を、当資料館所蔵資料のほか、広島市市民局が所蔵している資料を展示し、紹介した。

また、本展示では、ペルー日本人契約移民データベース（1899年から1923年にかけて契約移民としてペルーに渡った日本人移民18,727人についてのデータが収録された検索システム）のデモンストレーションを実施した。

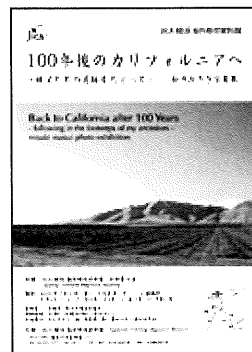


展示の様子

特別展示 5 100年後のカリフォルニアへ—祖父たちの足跡をたどって—松井みさき写真展

開催期間：3月1日（金）～5月6日（日）
開催期間中入館者数（3月のみ）：2,751名

概要：ニューヨークで活動する写真家・松井みさきさんは、日本で亡くなった祖父・曾祖父が第二次世界大戦前、アメリカ移民としてカリフォルニアで葡萄園を経営していたことを知る。祖父の残した古いアルバムにあった写真の風景を求めて、彼女の家族の歴史をたどる旅が始まった。日米の移住資料館、カリフォルニアのナショナル・アーカイブなどから入手した乗船名簿等の資料とともに、彼女の「旅」の写真を展示した。

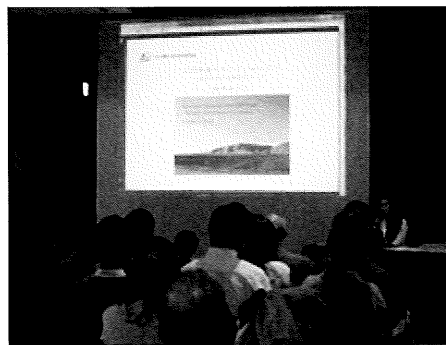


付帯イベント：松井みさき ガラリートーク
実施日：3月2日（土）、3日（日）14:00～15:00
受講者数：2日 61名、3日 71名

概要：特別展示「100年後のカリフォルニアへ—祖父たちの足跡をたどって—松井みさき写真展」開催に伴い、写真家松井みさきさんによるガラリートークを行った。展示に至るまでの経緯、趣旨などお話いただいた。



展示の様子



ガラリートーク

イベント1 子どもの日はカルタで遊ぼう（児童福祉週間）

開催日時：5月5日（土）10:00～16:00

参加者数：136名

概要：子ども向けイベントとして、移民カルタを用いたイベントを実施。参加者をグループ分けし、展示案内ボランティアが読み札を読み、カルタ大会を実施した。

イベント2 ミュージアム・クイズラリーよこはま 2012

開催期間：7月20日（金）～8月31日（金）

参加者数：202名

概要：当資料館を含む横浜・みなとみらい地区周辺の15の博物館が開催する「ミュージアム・クイズラリーよこはま 2012」。毎年夏休み期間中に開催されており、本年度も実施した。

付帯イベント：ミュージアムツアー 8月28日（火）10:00-12:00

みなとみらい・馬車道コースのツアー（県立歴史博物館、当資料館、税関資料展示室を回るツアー）を3館協力で実施。6名の方に参加いただいたが、一度にいろいろなミュージアムを回れて解説も受けられると好評を頂いた。

イベント3 新港サマーパスポート

開催期間：8月3日（金）～8月31日（金）

概要：当資料館を含めた新港地区にある7つの施設で、実施期間中施設ごとに用意したサービスにクーポン券を利用できるパスポートを製作・実施した。当資料館クーポン利用時にはオリジナルKOKO缶バッジ、あるいは国旗缶バッジをプレゼントした。資料館クーポン利用数：270枚。また参加施設3か所のスタンプを押印してハガキで応募するとプレゼントがもらえる企画には「ぶら志る丸」のプラモデル3台を提供した。



イベント4 「かながわ子ども・子育て支援月間 紙芝居・カルタで遊ぼう！」

開催日時：8月5日（日）・26日（日） 10:00～16:00

参加者数：39名

概要：神奈川県保健福祉局が実施する「かながわ子ども・子育て支援月間」の一環として実施。紙芝居、移民カルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。参加児童生徒に対し、資料館オリジナル国旗バッジをプレゼントした。



イベント5 子どもアドベンチャー2012

開催期間：8月22日（水）・23日（木）

参加者数①：カルタで遊んでタイムスリップ！：101名

参加者数②：ワールド・フード・ツアー～日本と世界の食のつながり～：99名

概要：横浜市教育委員会の実施する「子どもアドベンチャー2012」の一環として開催。「カルタで遊んでタイムスリップ！」は移民カルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。本イベントにおいても、参加児童生徒に対し、資料館オリジナル国旗バッジをプレゼントした。

「ワールド・フード・ツアー！」は、1階ギャラリー、2階 JICA プラザ、当資料館の3か所を巡り、JICA インターン生の案内でクイズを解いていくツアーを行った。「日本と世界の食のつながりをいろいろな角度から考えることが出来た」と、参加者に好評をいただいた。



イベント6 第5回宝島ハロウィン

開催日時：10月28日（日）11:00～15:00

参加者数：988名

概要：みなとみらい・新港地区で開催された第5回宝島ハロウィンラリーに当資料館もラリーポイントとして参加。仮装をして来館した子どもを対象にお菓子（ブラジル・トメアスー地区の агроフォレストリー農法で栽培されたカカオを原料にしたチ



ヨコレート)を配布した。「アグロフォレストリー」に関する情報(森を作る農業の環境負荷の低さや、ブラジル農業への日系農家の貢献など)を伝え、その魅力を紹介した。またワールドポーターズ内で実施された仮装コンテストにも審査員として参加し、「JICA 横浜 海外移住資料館賞」を一組に贈呈した。

イベント7 第2回中南米横浜書道展

開催期間：12月1日(土)～12月24日(月)

会場：JICA 横浜1階 展示スペース

概要：中南米諸国で書道を学ぶ人々を対象に、日本で書の学習成果を発表する機会を提供し、日本語学習の意欲向上につなげることを目的とした書道展開催(主催：中南米書道展開催事務局)にあたり、出品作品の取りまとめ、資材提供、展示準備・撤収、ホームページ作成等の支援業務を行った。



イベント8 上映会「時折—グラミーニヤの家族」

開催日時：1月19日(土) 14:00～16:30

会場：JICA 横浜4階 かもめ

受講者数：53名

概要：『グラミーニヤの家族』は、1927年から1934年にかけて日本からブラジルに移住し、「グラミーニヤ」と呼ばれる土地に根を張った5組の日系家族の日常を見つめ、彼らの軌跡を辿るドキュメンタリー映画。2013年劇場公開に先駆けて上映会を行った。



イベント9 入館者30万人達成！ 記念セレモニー

開催日時：3月5日(火) 13:30頃

会場：海外移住資料館エントランスホール

概要：2002年10月4日の開館以来、入館30万人を達成し、記念セレモニーを開催。記念すべき30万人目の入館者となったのは、横浜市泉区在住の八谷道紀さん(63)。

エントランスに入ったところで、30万人目であることをスタッフから告げられ、吉浦館長から30万人記念証明書と、当資料館オリジナルの缶バッジで作られたレイ、船の模型や絵葉書などの資料館グッズなどの記念品が手渡された。

地元自治会会長を務めている八谷さんからは「この資料館の存在は以前から知っていましたが、訪れたのは初めてです。今度は自治会のみなさんと一緒にまた来たいと思います」と、コメントいただいた。



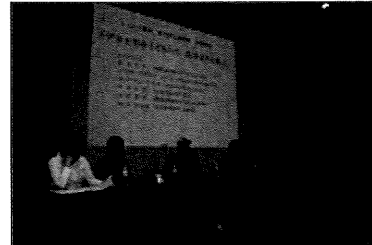
公開講座1 シンポジウム「デカセギの子どもたち 自分たちを語る」

開催日：5月19日（土） 15:00～17:00

パネリスト：鈴木ユリ（映画「孤独なツバメたち」出演者）／パブロ・ナダヨシ・ロリン（Minority Youth Japan 代表）／ウィリアン・ヤビク（Minority Youth Japan）／津村公博（浜松学院大学 教授）／中村真夕（映画監督）／山本かほり（愛知県立大学 准教授）

受講者数：115名

概要：1908年以降、多くの日本人がブラジルに渡り、そのブラジルでは今や150万人の日本人とその子孫である日系人が暮らしている。一方で、1990年代以降、多くの日系人が「デカセギ」として来日している。2008年に起こったリーマンショックの影響で、派遣労働者として働いていた多くの日系ブラジル人は、仕事を失い、帰国を余儀なくされている現状にある。ブラジルと日本の間を行き来し、社会情勢に翻弄されながらも、たくましく生きていく日系ブラジル人の若者たちが、何を感じ、何を考えているのか — 今回の公開講座は、多くの移民を送り出してきた日本という国で起きている現実を見つめつつ、未来について考える契機を提供できればと考え、開催した。



公開講座2 映像上映会「Go for Broke!」—ハワイ日系二世の記憶—

開催日：9月8日（土） 14:30～17:00

講師：松元裕之（NPO法人 NAC-J 代表）

受講者数：188名

概要：ハワイ・マウイ島で、日系二世の“体験”を若い世代に伝えていこうと、二世自らが立ち上がり実施している「Kansha Preschool」を支援するNPO法人 NAC-J代表の松元裕之監督が、60時間に及ぶ元二世兵士のインタビューをまとめたドキュメンタリー映画「Go for Broke!」—ハワイ日系二世の記憶—の試写会を行った。終了後に松元監督による講演会も併せて開催した。



公開講座3 講演「世界のパスポート／パスポートの世界」

開催日：12月9日（日） 14:00～15:00

講師：陳天璽（国立民族学博物館先端人類科学研究部准教授）

受講者数：73名

概要：本講座は、財団法人千里文化財団「国立民族学博物館友の会」との共催で実施。世界各地のさまざまな種類のパスポートの事例をとおして、それぞれの保証内容や発行機関についての解説、また、発行する側と所持し、使用する側の意識のずれなど、人びとの帰属意識をめぐる思いについてなどを講演いただいた。



公開講座 4 講演「経済不況下のブラジル人とコミュニティ—豊田市のブラジル人はどのような生活を送っているのか—」

開催日：2月9日（土） 15:00～16:50

講師：大谷かがり（中部大学）

受講者数：48名

概要：2007年から2012年までの豊田市保見団地とその周辺で行ったフィールドワークから、リーマンショック以降豊田市のブラジル人はどのような生活を送っているのか、どのような問題を抱えているのかについてお話を伺った。



2. 情報システム

1) 情報展示ネットワークプロジェクト（情報展示）コンテンツ拡充

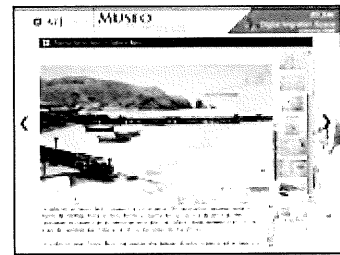
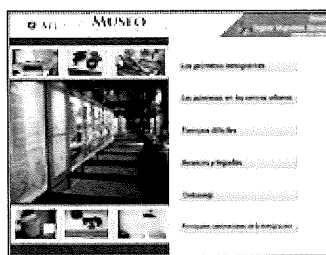
(1) ペルー日本人移住史料館サイト

日本人移住 80 周年にあたる昭和 54 年（1979 年）に、記念事業のひとつとしてリマ市に建設されたペルー日本人移住史料館のデジタルサイト。スペイン語の全コンテンツと日本語及び英語の一部コンテンツを、2011 年 10 月 25 日に一般公開していたが、本年度 1 月 18 日の「ペルーの日系人」展開催にあわせて、日西英 3 言語による全コンテンツを完成させ、公開した。

URL: <http://dms-apjmuseo.eg.jomm.jp/top.html> (Español/スペイン語)

<http://dms-apjmuseojp.eg.jomm.jp/top.html> (Japanese/日本語)

<http://dms-apjmuseoen.eg.jomm.jp/top.html> (English/英語)

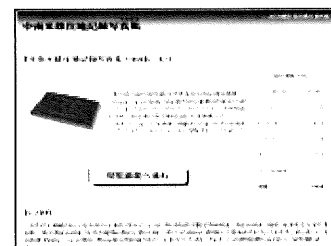
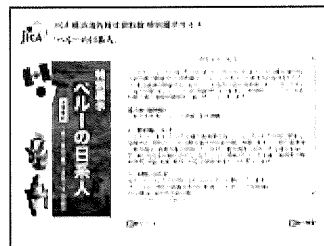
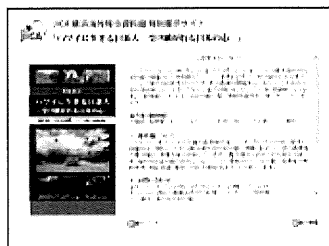


また、柳田利夫学術委員の指導の下、「ペルー日本人契約移民データベース」を活用した検索システムの構築に取り組み、「ペルー日本人移住資料館サイト」と合わせて一つのまとまりとしたペルー版「移住資料デジタルネットワーク化プロジェクト」サイトの製作をすすめた。本サイトは2013年4月3日の「日秘友好の日」にWEB公開予定。なお、「ペルー日本人契約移民データベース」（日本語版）は、2013年6月18日の「海外移住の日」にあわせて公開を予定している。

(2) 特別展示サイト、所蔵資料閲覧サイト

本年度開催した特別展示のうち、「ハワイに生きる日系人 ―受け継がれる日本の心―」及び「ペルーの日系人」について、展示内容、展示品等を紹介するサイト構築作業をすすめた。

また、当資料館で所蔵している「中南米移住地写真集 1964」について、閲覧サイトの製作・公開作業をすすめた。いずれのサイトも 2013 年夏の公開を予定している。



2) 情報検索システム

(1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。平成 24 年度末時点登録数：39,318 件（うち図書類：31,097 件、標本類ほか：8,221 件）。
URL：<http://search.jomm.jp/>

(2) 登録データの整備

平成 24 年度は既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は 440 件。

3) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ

(1) 移住資料所蔵関係機関情報

国内及び海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等のご協力をいただき、順次追加していく予定。

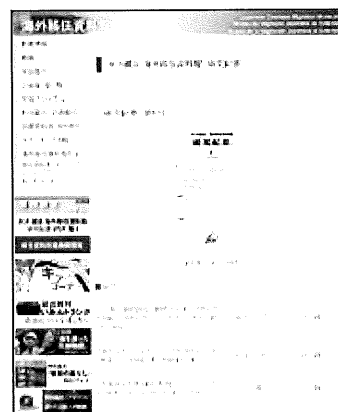
URL：<http://www.jomm.jp/shozokikan/index.html>



(2) JICA 横浜 海外移住資料館 研究紀要

当資料館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、平成 18 年より刊行している「研究紀要」について、PDF 版を製作し、当資料館 Web ページにて公開した。3 月末現在、研究紀要 1 から 6 まで公開されている。

URL：<http://www.jomm.jp/kiyo/index.html>



3. 資料等情報整備

1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集を行った。資料受入は1,190件。登録総件数は42,092件。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
取得	0	44	147	2	193
購入	225	39	9	0	273
寄贈	105	198	232	1	536
移管	0	42	45	97	184
既存資料	0	0	0	4	4
寄託	0	0	0	0	0
受入合計	330	323	433	104	1,190

2) 資料の整理

(1) 海外移住事業に関する所蔵資料の整備（移住申込書データベース）

移住申込書の物理的整理作業が平成23年11月に終了したことを受け、今年度より移住申込書のデータベース構築作業が開始された。データ入力、確認作業を実施し、データ（文字情報、画像）の不備、修正等があった場合には、その都度実物資料と照合し、適宜修正等を行った。なお、本作業は慶應義塾大学文学部 柳田研究室にご協力いただいている。

(2) 海外邦字新聞の整理

当資料館で受入・収蔵している海外邦字新聞の整理作業に関し、今後の方針を柳田利夫学術委員の助言・指導のもと、検討を重ねた。その結果、平成25年度より、海外邦字新聞のうち、まず「ペルー新報」を対象として、当資料館の収蔵状況並びに国立国会図書館の収蔵状況確認を行い、当資料館では国立国会図書館に収蔵されていない号のみ、収集・保管することとした。「ペルー新報」をモデルケースとし、他の海外邦字新聞についても収集・保管を行うこととする。

(3) 「歴史資料等保有施設」の指定

当資料館では「歴史資料等保有施設」登録に向けた条件整備をすすめ、平成25年4月1日に公文書管理法施行令第5条第1項第4号に基づき、歴史資料等保有施設として内閣総理大臣の指定を受けた。

既に多くの所蔵資料を市民の皆様、学生、研究者等に活用いただいているが、このたびの指定を受け、引き続き、資料の整理・保管並びに利用環境整備を進めていく予定である。

4. 教育普及活動




1) 教育プログラムの概要

海外移住資料館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような 21 世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

<p>【学習活動の手引き】無料配布</p> <p>この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示及び各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。</p>	
<p>【移民カルタ】貸出可</p> <p>日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。</p>	
<p>【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可</p> <p>このカルタは、単に日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、様々な工夫が凝らされている。(制作：移民カルタ研究会)</p>	

【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全4種類。

- (上段左) 海を渡った日本人
- (上段右) カリナのブラジルとニッポン
- (下段左) ハワイに渡った日系移民
- (下段右) 弁当からミックスプレートへ



【いみんトランク】貸出可

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車 (画像・トピックシート有)
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート (トピックシート有)
- ・移住幹旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・アマゾンで栽培されている野菜
- ・アマゾンや日系人の貢献に関する情報 (資料)
- ・アマゾンを守るエコ農法 (朝日新聞記事)
- ・アマゾン移住に関する概要・年表 (資料)
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ (トピックシート有)
- ・スパムセット
- ・Tシャツ (日系コミュニティのイベント等で使用されたもの)
- ・ブラジルの和菓子 (まんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、もち、金澤製菓画像。トピックシート有)
- ・ブラジル南米神宮のお守り (南米神宮画像、トピックシート有)
- ・外国人登録者数推移 (資料)
- ・世界地図
- ・ハワイのビッグファミリー (画像)



【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】

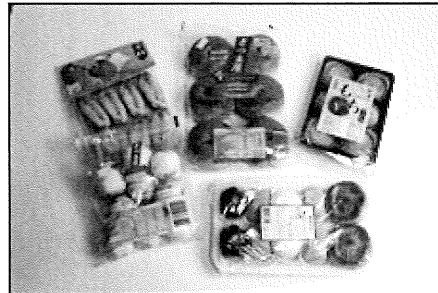


【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【パールハーバー当日の新聞】

これらの教材を实际見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。



【ブラジルの和菓子】

【定点解説キット】

日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。

- ・サトウキビ畑の生活・仕事（麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等）
- ・ミックスプレート（写真パネル）
- ・スーツケース（写真カード入小箱、トランク等）
- ・移住物語（写真アルバム、複製パスポート）
- ・花と製品あてゲーム
- ・農作業具（写真パネル）
- ・日系商店（萬屋の品揃えアルバム、エプロン等）
- ・日系人の食卓（写真アルバム）
- ・イグアス（空撮写真、アルバム等）
- ・宝さがし（中高生向写真カード、ゾーンマップ）



【映像教材】貸出可

日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下6種類は貸出も行っている。

- ①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」
- ②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」
- ③DVD, VHS「海外移住資料館 われら新世界に参加す」
- ④DVD「夢と希望を運んだ船 ～移住船での暮らし～」
- ⑤DVD「海外移住資料館」
- ⑥DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※

※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすぎじゅんいち監督より寄贈を受けた。

【学習シート】

子どもたちを展示資料へ導き、作業を通して展示のねらいにあった見学を支援するための学習教材。これら学習シートの問いに答えながら見学することにより、海外移住の歴史や、日本人移住者の努力、貢献などを学ぶことができる。

【パワーポイント教材】

海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用している。

2) 教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイドダンス（概要説明）、オリエンテーリングシートや学習教材を使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は 116 件、総受講者数は 4,994 名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



【教育プログラム実績】

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
件数	38	30	32	16	116
総受講者数	1,760	1,718	1,154	362	4,994

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

【教育プログラム受講教育機関】

(1) 第 1 四半期：

（**中学校**）青森市立浪打中学校、京丹後市立大宮中学校、横浜市立潮田中学校、仙台市立五橋中学校、横浜市立本郷特別支援学校、横須賀市立武山中学校、横須賀市立浦賀中学校、横浜市立西谷中学校、田原本町立北中学校、横浜女学院中学校、横須賀市立鴨居中学校、平塚市立神田中学校、横須賀市立北下浦中学校、平塚市立江陽中学校、目黒区立第 11 中学校（**高等学校**）神奈川県立大和西高等学校、関東学院高等学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、神奈川県立三浦臨海高等学校、横浜市立横浜商業高校、神奈川県立追浜高等学校、神奈川県立相原高等学校、市原中央高等学校（**大学**）群馬県立女子大学、横浜国立大学、横浜市立大学、首都大学東京、大妻女子大学、放送大学、常葉学園大学、神奈川県立保健福祉大学、東京都市大学、恵泉女学園大学、神奈川大学、拓殖大学（**その他**）カナディアンインターナショナルスクール

(2) 第 2 四半期：

（**小学校**）横浜市立本宿小学校、横浜市立三保小学校、横浜市立つつじが丘小学校、横浜市立いちよう小学校、横浜市立飯島小学校（**中学校**）横浜市立南高等学校附属中学校、橘学苑中学校、米沢市立第 7 中学校、米沢市立第 2 中学校、伊勢崎市立四ツ葉中等教育学校、多摩市立東愛宕中学校（**高等学校**）都立田柄高等学校、日出学園日出高等学校、神奈川県立大磯高等学校、栃木県立小山高等学校、都立大島海洋国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、神奈川県立湘南高等学校、横浜隼人高等学校、桐蔭学園高等学校、新潟明訓高等学校、清泉女学院中学高等学校、群馬県立高崎高等学校、横浜総合高等学校、奈良文化高等学校、（**大学**）明星大学、慶應義塾大学、松陰大学（**その他**）ブラジル日本語センター

(3) 第 3 四半期：

（**小学校**）横浜市立洋光台第三小学校、横浜市立岩崎小学校、横浜市立入船小学校、横浜市立飯田北小学校（**中学校**）横須賀市立池上中学校、逗子開成中学校、墨田区立本所中学校（**高等学校**）神奈川県立柏陽高等学校、就実高等学校、神奈川県立横浜緑園総合高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、静岡県立御殿場南高等学校、都立小石川高等学校、神奈川県立大師高等学校、川崎市立橋高等学校、神奈川県立川崎高等学校、慶応義塾高等学校、神奈川県立氷取沢高等学校（**大学**）多摩大学、創価女子短期大学、早稲田大学、東京学芸大学、拓殖大学、中央大学、青山学院大学、恵泉女学園大学、立正大学、放送大学、神奈川県立国際言語文化アカデミア

(4) 第 4 四半期：

(小学校) 捜真小学校 (中学校) 二宮町立二宮西中学校、横浜市立平楽中学校 (高等学校) 横須賀学院高等学校、都立つばさ総合高等学校、八千代松陰高等学校、神奈川県立光陵高等学校 (大学) 横浜市立大学、玉川大学

【プログラム例 大学生向け (2 時間)】

- ① 日本人の海外移住史概要
- ② 在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
- ③ 日本人の海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義



【プログラム例 高校生向け (2 時間)】

- ① 日本人の海外移住について解説
- ② ハワイと日系人に関する概要説明
- ③ 移住の歴史と在日日系人について講義
- ④ オリエンテーリングシートを活用した資料館見学

【プログラム例 中学生向け (1.5 時間)】

- ① 日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
- ② オリエンテーリングシートを活用した資料館見学



【プログラム例 小学生向け (30 分~1 時間)】

- ① カルタで宝探し (カルタにある資料を探し解説を受ける)
- ② オリエンテーリングシートを活用した資料館見学

3) ボランティア管理運営

(1) ボランティア活動の概要

当資料館では、以下の業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア活動 (ガイドボランティア)

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。平成 24 年度末時点で、登録者数は 20 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

- ・ 第 1 四半期：260 人配置 (78 開館日、平均 3.3 人配置)
- ・ 第 2 四半期：264 人配置 (78 開館日、平均 3.4 人配置)
- ・ 第 3 四半期：269 人配置 (76 開館日、平均 3.5 人配置)
- ・ 第 4 四半期：255 人配置 (75 開館日、平均 3.4 人配置)

② 資料整理ボランティア活動 (サポートボランティア)

当資料館のイベント開催時のスタッフとして、また収蔵資料整理業務において各種作業に携わっている。平成 24 年度末時点で、登録者数は 10 名。

(2) ボランティア研修会等の実施

当資料館では、ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施している。また、ボランティアの意見を反映し、活動を円滑に進めていくために、以下のとおり連絡会議を実施。今後の活動について意見交換を行った。平成 24 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

① ボランティア研修会

- ・ 展示解説研修「来館者対応」「短時間でのご案内法」
日時：9 月 18 日（火）
担当：三木美裕氏（国立歴史民俗博物館招聘教授）
参加者：12 名
- ・ 海外調査報告
日時：12 月 14 日（金）
担当：小嶋茂（海外移住資料館業務室 学芸担当）
参加者：11 名
- ・ 図書修復研修（資料整理ボランティア対象）
日時：3 月 21 日（木）
担当：高尾斎氏（キハラ株式会社製本アドバイザー）
参加者：11 名

② ボランティア連絡会議

- ・ 第 1 回 5 月 25 日実施 参加者：10 名
- ・ 第 2 回 7 月 26 日実施 参加者：14 名
- ・ 第 3 回 9 月 18 日実施 参加者：15 名
- ・ 第 4 回 12 月 14 日実施 参加者：14 名
- ・ 第 5 回 3 月 1 日実施 参加者：17 名

5. 広報活動

1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当資料館広報紙として「海外移住資料館だより」を、平成 24 年度は 5 回発行。巻頭特集、海外移住探検隊などの各コーナーでは、特別展示等に関わりの深い内容をとりあげ、展示及び収蔵資料を紹介するだけでなく、その他関連の話題を紹介。発行部数 10,000 部。

主な配布先は、都道府県国際交流課及び国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜及び川崎市小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,500 件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

No.	発行	コンテンツ
26	2012 年 6 月	巻頭特集 出稼ぎの子どもたち自分たちを語る—映画「孤独なツバメたち」に見る現実とは／となりの町の日系人—静岡県浜松市「ムンド・デ・アレグリア」／海外移住資料館へようこそ！
27	2012 年 7 月	特集 Shall we "bon dance"?—知られざるハワイの盆踊り／インタビュー「太鼓は次の世代への贈り物」マウイ太鼓代表 ケイ・フクモトさん／となりの町の日系人—「Mixed Roots×ユース×ネット★こんぺいとう」代表 渡辺マルセロ敏行さん
特集号	2012 年 10 月	海外移住資料館開館 10 周年特別号 われら新世界に参加す—JICA 横浜 海外移住資料館の 10 年
28	2013 年 1 月	特集 南米で日本人が最初に移住した国 ペルー /インタビュー「日系社会は進化している特別な存在」アルマカミニイト／海外移住資料館へようこそ
29	2013 年 3 月	特集 100 年後のカリフォルニアへ—祖父たちの足跡をたどって 松井みさき写真展—／海外の邦字新聞より「ダニエル・イノウエ米上院議員死去／海外移住資料館へようこそ



No.26

No.27

特集号

No.28

No.29

2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館の入館者数増を目指し、地域で行われるイ

ベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

(1) 広報媒体の活用

横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅ホームに電飾看板掲出(1年間)、同みなとみらい駅改札コンコース内インフォボードに広告掲出(9か月間) / 市交通局観光周遊バス「あかいくつ」車内モニター広告掲出(1年間)

(2) 外部媒体への掲載

神奈川新聞 / 東京新聞 / 読売新聞 / 朝日新聞 / 毎日新聞 / 産経新聞 / 日本経済新聞 / 神戸新聞 / 紀伊民報 / 朝日小学生新聞 / 日本教育新聞 / 全私学新聞 / サンケイリビング新聞・横浜南版&横浜東版 / 羅府新報 / 日加タイムス / バンクーバー新報 / メトロガイド / 関東レク情報 / OPEN YOKOHAMA / 横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」 / 横浜市中区版広報誌 / シニアだより横浜 / Mirea / アロハヨコハマ / FM 横浜 / 横浜ベイシティ交通マップ / ケーブルシティ横浜 / 移動教室年鑑 / 歩く地図 鎌倉・横浜散歩 / ソトコト / クーリエ・ジャポン / おとなの週末 / with / 旅なび 東京・横浜 / THE JAPAN TIMES / でか地図ウォーカー横浜観光 / YOKOHAMA 夏号 (JR 東日本) / タワーレコード広報誌別冊「intoxicate」

3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館常設展示及び企画展示、特別展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った (NHK 横浜支局、TBS ラジオ、TVK、横浜ウォーカー、東京一週間、シティリビング、リビング横浜東、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、全私学新聞、各種イベント広報 web サイト等)。また近隣博物館、商業施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当資料館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、平成 24 年度は計 11 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、イベント開催等に併せて随時号外を配信している。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、平成 24 年度末時点で、友の会会員は 482 名 (DM 会員 : 153 名、メール会員 : 491 名) となった。

6. 運営委員会及び学術委員会

1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置。平成 24 年度は開催実績なし。

2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、平成 18 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）、JICA 横浜市民参加協力課課長（海外移住資料館運営担当部署）により構成される。

【平成 24 年度 学術委員会開催】

- ・ 第 1 回学術委員会（6 月 4 日）
- ・ 第 2 回学術委員会（8 月 2 日）
- ・ 第 3 回学術委員会（10 月 1 日）
- ・ 第 4 回学術委員会（12 月 20 日）
- ・ 第 5 回学術委員会（3 月 12 日）

【平成 24 年度 学術委員】

委員長	飯野正子	津田塾大学理事長
委員	石川友紀	琉球大学名誉教授
	糸井輝子	白百合女子大学教授
	島田法子	日本女子大学教授
	中牧弘允	吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶応義塾大学教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員
	吉浦伸二	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）
	米林徳人/ 浅見栄次	JICA 横浜市民参加協力課課長

3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の 2 プロジェクトが、平成 24 年度より 3 年間実施されることとなった。新たな学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

(1) ニッポンの伝統、ニッケイの祭りー日本文化の伝承と変容と女性の役割を基軸に

概要：資料館開館 10 年の節目に、現在の常設展示のあり方を再考する必要がある。本プロジェクトは常設展示の充実、とくに現在の日系コミュニティに関わる展示の充実を念頭におきつつ、祝祭行事に注目して、日本の伝統の継承と変容を現地調査し、その歴史的、社会的、文化的意味を考察する。

【プロジェクトリーダー：桑井輝子（白百合女子大学教授）】

(2) 移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張

概要：海外移住資料館では、日本国内及び世界各国の日本人の海外移住をテーマにした博物館・資料館等と連携し、それらのハブ機能としての役割を持つべく「移住資料ネットワーク化プロジェクト」をすすめてきた。本プロジェクトはその作業を更に充実、拡張するための基礎的な情報を収集し、解決すべき諸問題（情報公開と個人情報保護、日系社会の世代交代、デジタル技術の発展と情報環境の変化など）について、専門家を招いて研究会を開催し、学術的な研究を深めるとともに、その結果と成果とを、最終的には資料館の業務へと繋げてゆくことを目的とする。

【プロジェクトリーダー：柳田利夫（慶應義塾大学教授）】

4) 研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、研究紀要第7号を発行した（2013年3月発行）。論文題目等は以下のとおり。

『研究紀要 第7号』

【論文】

ホノルル潮音詩社にみる日本人移民社会と移民の生活史
— 1920年代から太平洋戦争開戦まで —
日本女子大学教授 島田法子

ペルー日系二世の短歌と戦前期の日本語教育
— 里馬実科高等女学校と日系婦人会文芸部「椰子の実短歌会」 —
慶應義塾大学教授 柳田利夫

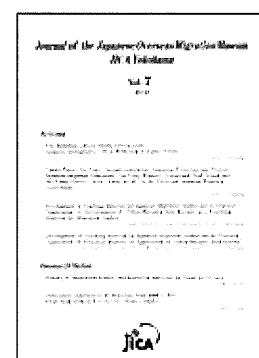
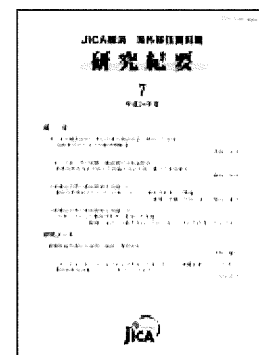
日系移民学習の教材開発と実践（I）
— 移民学習教材としての「日本—ブラジル移民カルタ」の開発 —
中央大学教授 森茂岳雄
帝京大学准教授 中山京子
元財団法人海外日系人協会嘱託職員 福山文子

日系移民学習の教材開発と実践（II）
— 「日本—ブラジル移民カルタ」を用いた実践 —
近畿大学准教授 服部圭子
国際交流基金マニラ日本文化センター日本語アドバイザー 大船ちさと
帝京大学准教授 中山京子
元太田市立太田小学校バイソナル教員 スエナガ サンドラ テルミ

【研究ノート】

愛媛県海外移民史研究の現状と資料状況
下関市立大学教授 木村健二

リーマンショックによってブラジル人はどのようなことに困難を感じているのか— 豊田市
保見団地でのフィールドワークから —
中部大学助手 大谷かがり

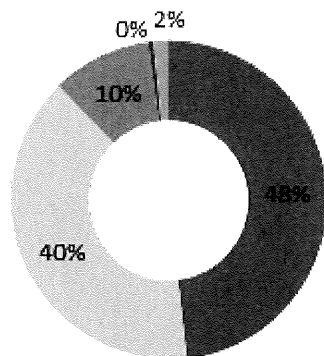


7. アンケート調査

当資料館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 395 件。5 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」を合わせた回答が全体の 7 割以上を占め、おおむね良好な回答を得た。

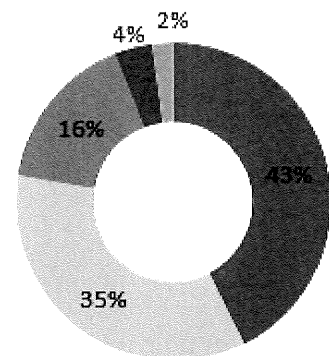
展示の内容

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



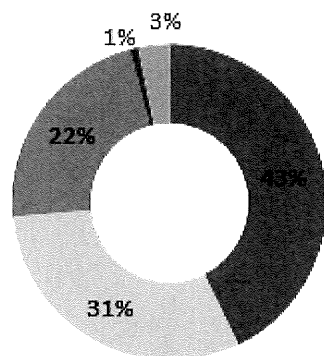
展示ガイドによる展示解説

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



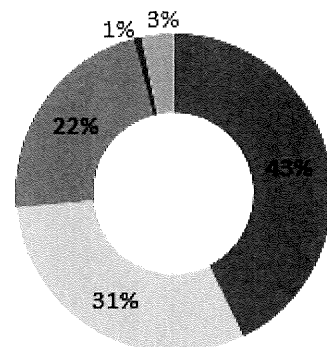
受付の対応

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



海外移住資料館だよりの記事内容について

- 5(とても良い)
- 4(良い)
- 3(普通)
- 2(あまり良くない)
- 1(良くない)



8. 各種実績等

1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

当資料館では、所蔵資料を活用し、絵葉書（10種）、ストラップ、移住船模型（4種）、国旗缶バッジ（15種）の制作・販売を行っている。販売実績については以下のとおり。

	平成22年度	平成23年度	平成23年度	平成24年度
絵ハガキ（10種）	236	261	261	342
ストラップ（オリジナル・十二支）	375	484	484	457
移住船模型	9	24	24	4
国旗缶バッジ	—	339	339	589

2) 地方自治体が行う多文化共生社会の実現に向けた取組への協力

横浜市経済局が行う、管理職者が対象の「人権啓発研修」実施について、昨年度に引き続き依頼を受け、1月18日に問う資料館にて実施。これら研修においては、当資料館常設展示室見学を軸に、移住者/日系人の歴史背景や、在日「日系」南米人の現況などを説明。一昨年度及び昨年度に引き続き、市職員を対象とした同様の研修を実施しており、JICA 横浜国際センター及び海外移住資料館の存在意義・利用価値について、自治体からの評価が定着してきているものとみられる。

3) 各種実績

平成 24 年度業務実績一覧

2012. 4~2013. 3

高齢者サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数 (前年同月比)	3,248	4,469	2,700	2,849	3,696	3,525	3,821	2,439	2,152	2,271	2,668	2,751	36,491
	129%	176%	125%	106%	154%	148%	138%	99%	97%	117%	134%	104%	121%

一般	2,418	3,419	2,015	1,973	3,541	2,195	3,347	1,878	1,816	2,164	2,750	2,597	30,113
学校関係	829	1,050	685	876	1,154	1,330	474	561	336	107	118	154	6,378

15歳未満	294	835	470	195	718	954	754	260	144	188	230	228	5,339
15歳以上	2,952	3,610	2,230	2,154	3,168	2,571	3,067	2,159	2,008	2,083	2,638	2,523	31,161

個人	2,268	3,166	1,847	1,729	3,462	2,050	2,884	1,729	1,572	1,678	2,575	2,312	27,499
団体	980	1,219	853	620	424	1,468	937	710	580	593	291	439	8,992

※開館からの累計： 302,382

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	5	18	15	10	7	13	12	7	13	4	5	7	116
実施対象人数	441	822	497	333	261	1,119	466	411	334	139	75	148	4,994

協会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	29	29	43	30	36	20	17	19	16	10	18	18	294

JICA	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	4
教育機関	3	3	10	2	3	3	0	2	0	0	1	0	21
国内団体	2	4	3	2	6	1	1	2	4	0	1	3	29
個人	20	15	23	21	19	12	12	6	9	6	7	8	159
自治体	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	9
制作会社・マスコミ	2	6	7	4	6	3	2	7	3	4	7	5	56
国外団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

図書資料室(海外移住)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数 (前年同月比)	215	265	145	159	267	243	217	193	227	224	204	232	2,591
	124%	116%	65%	122%	154%	136%	112%	100%	142%	114%	114%	112%	116%

一般	58	85	44	47	131	102	93	77	76	68	77	87	946
マスコミ等	5	6	2	1	1	2	0	1	3	4	1	4	30
JICA関係(業務)	79	60	91	109	135	129	111	108	112	92	98	94	1,209
JICA関係(研修)	73	114	18	2	0	10	13	7	36	60	28	47	408

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	199	109	28	0	151	172	218	139	76	0	100	4	1,190
(うち贈与)	0	0	0	0	3	41	79	50	18	0	2	0	193
(うち購入)	199	99	21	0	24	15	6	1	2	0	0	0	273
(うち寄贈)	53	45	7	0	121	77	131	78	29	0	1	0	538
(うち移管)	0	0	0	0	3	39	2	10	33	0	97	0	184
(うち既存資料)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
(うち寄付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所蔵数増減件数	41,101	41,204	41,232	41,232	41,383	41,555	41,773	41,912	41,988	41,988	42,089	42,092	

Webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Views(訪問者数) (前年同月比)	11,695	12,716	12,156	12,641	12,728	12,592	13,648	12,697	12,345	13,235	13,176	13,638	154,255
	121%	131%	112%	115%	106%	116%	125%	122%	123%	121%	111%	108%	117%

Pages(利用数)	41,211	44,620	38,544	37,505	35,946	35,019	34,874	33,620	37,249	36,903	37,790	40,494	451,777
Files(情報提供数)	111,431	129,197	115,164	128,526	129,113	123,327	123,263	118,937	116,444	126,971	127,352	131,994	1,481,606

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Views(訪問者数) (前年同月比)	654	739	562	692	667	573	604	669	632	582	560	651	7,625
	106%	103%	82%	100%	111%	83%	84%	100%	85%	82%	84%	91%	93%

検索件数 (前年同月比)	267	539	470	686	1,255	9	707	623	609	1,045	625	728	8,504
	116%	60%	39%	110%	276%	2%	56%	83%	89%	221%	100%	78%	93%

JICA 横浜 海外移住資料館 館報
平成 24 年度

**発 行：独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
海外移住資料館**

発行年月：2013 年 6 月

問い合わせ先

JICA 横浜 海外移住資料館

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781

Web : <http://www.jomm.jp> E-mail : info@jomm.jp

